

6 T-8

最小 I T 学習で作成できる、 文系学生のためのホームページ作成システムの開発

成田 裕一

菊地 由紀子

聖霊女子短期大学

1. はじめに

いまやインターネットの普及により世界中と通信ができるようになった。そしてホームページは生活、娯楽、経済など社会のあらゆる仕組みの中で活用されつつあり、その有効性はますます注目されている。しかし、I T 学習を専門としていない文系の学生が Html タグを習得してホームページを作成することはきわめて難しい。Html タグを知らなくてもホームページを作成できる市販のソフトも多々あるが、使用方法が複雑でかつ費用がかかるという問題がある。そこで我々は、最小の I T を学習するだけで実用的なホームページを作成することができるシステムを開発し、これを AHPS (Automatic HomePage Product System) と名付けた。

2. システム構成

AHPS には次の 3 種類のプログラムがある。

2-1. Ahps A type

5 行 3 列の見出しをトップページとしたタイプであり、各見出しは副題を 2 つまで付けられる。したがって最大 4 5 の見出しが付いたトップページを作成できる仕組みになっている。そして、それぞれの見出しから本文ページを呼び出すことができる。本文ページは複数行のテキストを 3 ブロック作成でき、各ブロック毎に最大 3 個の図を貼り付けることが可能であり、その作成もワープロ感覚で簡単に行うことができる。最初にホームページの全容を一覧できるため、多項目の紹介文書や自分史などのホームページに適している。

2-2. Ahps B type

画面を 3 つのフレームに分けたタイプである。上部のフレームには常にそのホームページタイトルを表示し、左側のフレームにはメニュー形式で 1 5 ページまでのリンク先を表示し、リンク先である実際のページを右側に表示する。本文ページは A type 同様、複数行のテキストを 3 ブロック作成でき、各ブロック毎に最大 3 個の図を貼り付けることが可能である。メニューを見ながら他のページを見ることができるため、テーマが絞られているものの紹介、解説書、研究報告などに適している。

2-3. Ahps C type

見出しのない 1 ページの本文を作成するタイプである。表や文章のブロック数に制限なく作成することができる。本文ページの作成にこだわりたいときの使用に適している。

3. 簡易タグ

本文作成にあたっては、所定の箇所にワープロ感覚で文字を入力してだけで、デフォルトで指定されたフォントサイズ、フォントカラーの HTML 文書を自動で作成できる。さらに、僅か 8 個の簡易タグ (*s *g *c #t *l *m #c #C) を使い分けると、応用範囲はますます広がる。

フォントサイズは、*s1~*s6 の全 6 サイズ、太字フォントサイズは、*g1~*g6 の全 6 サイズ、フォントカラーは、*c1~*c9 の全 9 色のタグを文字の直前に記述することで指定できる。表は、#t に続いて表題、行数、桁数を半角カンマで区切って記述し、桁情報を accent grave (`)

で区切って行数分記述することで作成される。リンク指定は *l の後ろにリンク表示をダブルコーテーションで囲んで記述し、続けてリンク先をダブルコーテーションで囲んで記述する。同様にメール指定も *m の後ろにメール表示をダブルコーテーションで囲んで記述し、続けてメールアドレスをダブルコーテーションで囲んで記述することで、指定できる。HTML タグの知識はほとんど必要としない。しかしながら、上記のタグは Ahps タグとして使用されるので、本文に表示情報として使用することはできない。このような制限にもかかわらず、#c タグは半角カンマに続けて行数を記述すると、その行数だけ記述した文は、記述文字の制限なくそのまま表示させることができる。< > などの HTML のタグも、タグと解釈されることなくそのまま表示できるのである。一方、HTML のタグとして実行したい場合には #C に半角カンマを続けて行数を記述すると、その行数だけ記述した文は、HTML 文として解釈される。したがって、簡易タグに指定されていない HTML タグも、ここでは有効に使用できる。次の例は #C タグで JavaScript を本文に埋め込むための記述例である。

<例>

```
#C,6
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
<!--
alert("ようこそ私のホームページへ!");
alert("ゆっくりとご覧ください!");
//-->
</SCRIPT>
```

4. 実施例

本学ではこのシステムを学生が有効に活用している。例えば、学生は毎回の授業のノートを Ahps B type で作成している。全 15 回の授業にタイトルを付けてメニューに置いておく。メニューは目次として使用できるので、試験前の復習時には瞬時に見たい内容呼び出すことができ、有効な学習を可能にしている。また、卒業課題では本システムを使用してプレゼンテーションを行なっている。自由にインターネットにリンクができ、得られた情報を随時追加訂正できることは、スムーズな発表を可能にしている。各種マニュアルの作成に当たっては、学生のみならず教職員も、本システムを有効に利用している。

基本的な IT であるビット、バイト、文字コード、ファイルについて理解でき、エディタさえ利用できれば、誰でも本システムを利用できるので、入学間もない 1 年生にも、本システムは難なく受け入れられ、このような成果をあげているといえる。

5. おわりに

本システムは Visual Basic で作成した。実行ファイルのサイズは各タイプそれぞれ 131KB、120KB、64KB と極めて小さく、Windows PC であれば 5 年前の機種でも利用できる。また、使用方法が極めて簡単でありながら、複数のページから成る実用的なホームページの骨格を短時間に作成できる。本文ページの体裁は決して良いものとは言えないが、即応性を要求されるページの作成に向いている。

本システムは下記の URL に紹介しているが、このホームページもまた AhpsA と AhpsB で作成したものである。

<http://www.seitan-net.com>